

英語科学習指導案

1 単元名

SUNSHINE ENGLISH COURSE 3 Reading 1 Faithful Elephants

2 単元について

本単元は土屋由岐雄作の童話絵本「かわいそうなぞう」の英訳である。戦争中に陸軍の命令により餓死させられた三頭のぞうの実話をもとに書かれた話であり、戦後もラジオで朗読された物語である。戦争を知らない生徒が戦争の悲しい一面を知る良い機会である。この課を通じて、平和を願う心を持ち、英語を用いて発信できる生徒を育成したい。また、現在は感染症対策下のため、話すことの活動ではなく、書くことの活動に重点をおいて授業を進めている。そこで、本単元では、読むことの活動における物語への理解を基にして、書くことの活動につなげることにした。読み物教材を通して、内容理解をするとともに感じたことや作者の意図を既習の英語表現を使って書くことで相手に伝えることができる生徒を育成したい。

令和3年度から教科書は、「SUNSHINE ENGLISH COURSE (開隆堂出版)」を使用している。この教科書は、新出言語材料を扱う「Scenes」と、各単元の話題に即したまとまりのある英文を読む

「Think」、「Think」の内容を他者に伝えるという再話（リテリング）活動を行う「Retell」等で構成されている。本単元の目標の実現のために、本単元までの Program 1～3において、特に「Retell」を通して、どのような手立てが必要であるかを考えた。リテリング活動においては、英文の内容を他者に伝えることだけを目的とするのではなく、英文を読んで自ら考えたこと等をわかりやすく他者に伝える技能を身に付けさせることを目的とする必要を感じた。また、自分の考えをわかりやすく他者に伝えるためには、英語の文法的な正しさが重要であると考えた。そのため、Program 1～3を通じて、書くことの活動の中で自分の英語の正しさを確認した上で、それを基に話すことを行うという順序で学習を行うことにした。

また、本校では、昨年度の1、2年生に週1時間程度の日本人教師2名によるチームティーチングを行った。今年度は、すべての学年でチームティーチングを行っており、特に3年生ではリテリング活動を通しての話すこと、書くことの指導の充実を目指している。リテリング活動では、「Retell」のページにある絵や写真とキーワードに教科書の補助教材を組み合わせることによって作成したワークシートを使用している。個人の英語力に応じて Think 1～3を1章ごとに行い、自信がついた生徒から教師のところへ行き確認するというスタイルにした。全ての「Think」のリテリング活動が終了したら、最後にまとめて清書用紙に書き直し、単元で学習した内容に関して感想を英文で書くことにしている。

しかし、リテリング活動の指導にあたって、書いた英文を丸暗記している生徒が多いことが分かった。書いた英文の暗記ではなく、本文の内容理解を基に、絵やキーワードをヒントにして発話内容や記述内容を構成するというのが指導上の意図であった。また、感想文を書けるようにするためにも書くことの技能をさらに身に付ける必要があると感じた。そこで、「Faithful Elephants」の学習では、物語の内容と作者の意図を整理したうえで、感想を英文で書けることを目標において指導をしようと考えた。

これまで、英文を書く指導としては、個別に添削を行っていた。しかし、個別添削では同じ間違いを他の生徒に共有することができず、また直された生徒は赤で正しく書かれた英語をなぜ直されたのかを理解しないまま書き直しをしている生徒もいた。そこで、今回は自分の書いた英文を自分で再確認できるようにするための手立てを考たいと思い、チェックリストを作ったり、添削の赤で書かれた記号（挿

入マーク、や線の長さによって添削の意味を変える等) を活用することで自己チェックを促せるように工夫した。また、モデルになるような生徒の英作文をクラスで共有することで、生徒が互いに表現方法や考え方の多様性を知り、切磋琢磨し合える学習環境を作りたいと考えた。

3 学校研究主題と英語科研究主題との関わり

本校の研究主題は、「確かな学力」の育成を目指した授業作り— 主体的・対話的で深い学びへの取り組みを通して—であり、英語科の研究主題を「主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図る資質・能力の育成のための指導と評価の工夫」と定めた。

インターネットやオンライン活動がさらに活発になる中、文字情報としてきちんと伝わるようコミュニケーションが取れるようにすることは確かな学力を育成するうえで大切なことだと考えた。

4 単元の目標

- (1) so~that…及び too~to…に関する事項を理解する。 [知] 【知識及び技能】
- (2) so~that…及び too~to…などの意味や働きの理解を基に、物語文“Faithful Elephants”を読んでもその内容を読み取るとともに、感じたことや作者の意図を英語で書く技能を身に付ける。
[技] 【知識及び技能】
- (3) 物語文“Faithful Elephants”を読んで必要な情報や概要、要点を捉えるとともに、感じたことや作者の意図を英語で書くことができるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】
- (4) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手に配慮しながら、主体的に英語で書かれたことを読もうとするとともに、必要な情報や概要、要点を捉えようとする。また、感じたことや作者の意図を英語で書こうとする。 【学びに向かう力・人間力等】

5 評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①so~that…及び too~to…に関する事項を理解している。 [知]	①物語文“Faithful Elephants”を読んで必要な情報や概要、要点を捉えている。	①外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手に配慮しながら、主体的に英語で書かれたことを読もうとしている。
②so~that…及び too~to…などの意味や働きの理解を基に、物語文“Faithful Elephants”の内容を読み取る技能を身に付けている。 [技]	②物語文“Faithful Elephants”を読んで感じたことや作者の意図を英語で書くことができる。	②物語文“Faithful Elephants”を読んで必要な情報や概要、要点を捉えようとする。また、感じたことや作者の意図を英語で書こうとする。
③物語文“Faithful Elephants”を読んで感じたことや作者の意図を英語で書く技能を身に付けている。 [技]		

6 生徒の実態

7 単元の指導計画（7時間扱い）

時間	○ねらい・学習活動	評価	評価方法
1	○p44の絵を見て場所や時代背景を想像する。 ○出語句を確認する。 ○p45の本文を読んで内容を理解する。 ○本文を読んで、CheckとGuessの間に答える。	イ① ウ①	活動の観察 ワークシート
2	○出語句を確認する。 ○p46の本文を読んで内容を理解する。 ○本文を読んで、CheckとGuessの間に答える。	ア①② イ① ウ①	活動の観察 ワークシート
3	○出語句を確認する。 ○P. 47の本文を読んで内容を理解する。 ○本文を読んで、CheckとGuessの間に答える。	イ① ウ①	活動の観察 ワークシート
4	○出語句を確認する。 ○P. 48の本文を読んで内容を理解する。 ○本文を読んで、CheckとGuessの間に答える。	イ① ウ①	活動の観察 ワークシート
5	P. 49のまとめを確認する。 So～that…とtoo～to…の文の理解と活用を練習する。	ア①	ワークシート 後日、ペーパーテスト
6 本時	P. 48のshareとこの作品の作者の意図を英文で書く準備をする	ア③ イ② ウ②	活動の観察 ワークシート
7	6時間目の続きを生徒の作品を参考にして、書き直す。	イ② ウ②	活動の観察 ワークシート 後日、ペーパーテスト

8 本時の指導

(1) 本時の目標

①物語文“Faithful Elephants”を読んで感じたことや作者の意図を英語で書くことができる。

【思考力・判断力・表現力等】

②物語文“Faithful Elephants”を読んで感じたことや作者の意図を英語で書こうとしている。

【学びに向かう力・人間力等】

(2) 本時の展開

過程	学習内容と活動	指導上の配慮事項と評価（◇）
挨拶 1(1)	・英語であいさつ、天気、月日、曜日、時間などのやりとりを英語で行う	元気よく行う

導入 5	<p>①これまでの Guess 活動で多かった間違いについて全体で確認する。「チェックポイント」プリントの活用)</p> <p>②作文添削のきまり(赤の線、記号等)について確認する。</p>	<p>・自分が書いた英作文を必ず見直し、「チェックポイント」プリントで1～8の間違いを見て確認することを理解させる。</p>
展開 3 15 10 9	<p>ワークシートを使って</p> <p>①「Faithful Elephants」を読んだ感想と作者の意図を日本語で書く。</p> <p>②Key words 等を参考にしながら、自分の考えで空所に適する英語や英文を書いて、この物語、「Faithful Elephants」を読んだ感想や作者の意図を英語で表現する例文を書く。</p> <p>③自分の考えを3～5文程度の英文でまとめる。</p> <p>④何人かの生徒のの作品をギガタブで撮影し、クラスで共有する</p>	<p>・できるだけいくつかの異なった表現が出るようにして、板書する。</p> <p>◇様々な表現方法をメモしているか</p> <p>・英作文は10分程度で書けることを目標にする。</p> <p>・できるだけ表現方法の違う作文を共有できるようにする</p>
2	まとめと次の授業の確認をする	
挨拶 1	英語でも挨拶をする	